

星屑

'00 Oct.
No.307



熊本県民天文台

賑やかだったー！ 今年の夏休み

イベント
レポート

すでに、七夕や皆既月食、スターフエスタの大賑わいについてはレポートされています。そこで、この夏のその他のイベントについて、いくつかまとめてレポートします。



西原村の夏祭り

スターフエスタの翌週、29日の土曜日、東京に一番近い村=「西原村」の高遊原地区で開催された「夏祭り」に参加してきました。

このイベント、地域興しグループの企画で初めて開催され、全て手作りだと。どこか清和でのスターフエスタのスタートに似ています。以前、村営風の里キャンプ場で天体観望会を行い、電子紙芝居が子供たちに大受けだったことを覚えていた中心メンバーの方から声がかかり、上演となりました。

折からの台風接近にも関わらずお天気は上々、準備完了して暗くなるのを待っているうちに、大きな虹が架かっているのに気がつきました。まだ空は明るく、私のデジカメでも撮影できそうな明るさ。しかし、空いっぱいに広がった虹は大きくて、とてもカメラの視野には収まりません。「まー良いか」と、適

当に視野をズらしながら撮影。会場の雰囲気も入るように縦位置で4枚撮影し、3枚を合成ソフト頼りでつなぎ合わせてみました。会場の雰囲気が少しは伝わるでしょうか？

ならんが夜店のテント、大勢のちびっ子、浴衣姿の女の子。薄暮の中スイカ割りに挑戦する子ども達。遠巻きにしていた周りの大人達もだんだん集ってきて、会場は賑やかさを増してきました。

いよいよ出番です。今回、ビデオプロジェクターやスクリーンは、西原村で準備していただきました。私はパソコン一台だけ持参。

電子紙芝居はというと、七夕のお話「南の島のアムリガー」は結構な人気でしたが、まじめな「夏の星空」の解説はさすがに人気薄。お祭りの会場では、チョット勉強する雰囲気ではなかったようです。次回への教訓にします。



こんなテント村がいっぱいあって・・・・

高校生ボーイスカウトの第5回全国大会

高校生のボーイスカウトのことをベンチャースカウトと呼ぶのだそうです。今年は、4年に一度の大会が大分県の久住高原沢水キャンプ場を主会場に、各地の活動キャンプと連動して開催されました。

清和でのスターフェスタの際、各地のアマチュアが集まつた交流会で、「この催しの講師役が足りない。応援して!」と依頼がありました。その後、実施スタッフの方からも要請があつて引き受けることに。実施日の6日前のことです。

高校生の集団を相手に星空解説というのは、最近の天文台では体験していません。それに、「易しい星座物語などではなく、高度な内容を盛り込んで・・・」という依頼もありましたし、大急ぎで準備しました。

電子紙芝居「宇宙」の制作です。夏の星空というと壮大な天の川、星座早見や天球儀を使って、星空の見え方を勉強し、そこから分かる事実を使って、銀河系の中で太陽系がどんな風に位置しているかを探る目的です。

夏には銀河系の、
中心方向が見える



ついでに、地球の公転軌道を銀河系の中に見つけだそうという試み。いつも自分では面白いと感じていたテーマですが、他人に解説するには、言葉だけでは説明不足、何とかならないかと思っていました。良い機会なので、大急ぎで簡易アニメを作りました。

ついでに、四季の星空とは



出来上がってみると、銀河系の渦巻きの面に対してほぼ垂直に、太陽の周りを公転しているらしい地球の姿が表現できました。数日で作った割には上出来です。(自画自賛)

何しろ、高校生相手に3時間の講座を、午前一組、午後一組、そして、夜にはまとめて天体観望会という計画ですから、おしゃべりだけでは乗り切れるはずがありませんからね。

野外のテント内での講義ということでしたので、運営スタッフの方には発電機を準備していただき、25" の大型テレビとスキヤンコンバーターを持参、電子紙芝居劇場を昼間に上演という計画でした。

もう一つ準備したのは、発泡スチロール製の球です。12.5cm、7cm、4cmと3つのサイズを用意しました。それぞれを地球、火星、月の大きさに見立ててもらい、宇宙の大きさを実感してもらおうというものです。一番大きな「地球」の球を包んでいた透明のフィルムがちょうど大気の厚みに相当します。意外な薄さに皆びっくりして絶句。



「月はどの辺かな?」と4cmの球を手渡すと、70~80cmくらい離れたころに自信を持って置いてくれました。「うーん実はね」と、3.8m離れたテントの反対側の端へ持つてもらうと、またびっくり。地球と月の距離=38万Kmはこんなに遠いのか! 私も納得。



前ページのパノラマ写真でもおわかりのように、当日は接近中の台風の影響で一面の雲。時々雲の裂け目が通り、また時々雨がザーツと降るというお天気。前日の深夜到着したとき、たまたま現れた雲の切れ間にはものすごい星空。夜の観望会が晴れ間に出会うこと期待しながら、昼の行事が進行します。

星座早見盤の製作もテーマの一つ。ところが、はさみやカッターを使うのが苦手な高校生が結構目に付きました。うーん、何でも自分で作ってしまう我々世代は、彼らから見ると「怪物」なのかも知れません。



昼間の講座は無事に終わり、「楽しかった!」と声をかけてくれる参加者も居て、急ごしらえの講師としては大満足。運営スタッフの方にも喜んでいただけたようです。地球の酸素はどうしてできたのか?とか、春夏秋冬の違いはよく分かっただが、氷河期はなぜ起るのか?とか、たくさん質問が飛び出し、予定時間を超えて講座は盛り上りました。

待望の夜

夕方、食事の後、頭の上には青空が広がりました。張り切って28cmシュミカセを組み立てました。全て準備完了です。ところが、突然激しい雨が・・・・、それでも、雨が上がった後、2名が観望会に参加、わずかな晴れ間をぬって、夏の星空を楽しみました。お天気の良いときにまた行きたい場所です。



国際交流天体観望会 (写真撮影できたのは、人がまばらになってからでした)

城南町では、ここ数年、熊本県国際青少年音楽フェスティバルに取り組んでいて、外国からの大きな楽団をホームステイで受け入れ、城南町でも演奏会を行っています。

城南町では、フレンドシップクラブという国際交流団体の活動が盛んで、県内の市町村では熊本市に次いでたくさんのホームステイを受け入れることができ、例年、一番大きな楽団が城南町にやってきます。今年は、中国から北京大学附属中学交響管楽団がやってきました。



ホームステイ期間中、一日中自由行動のフリーデイがあり、塚原古墳など町内の名所や、清和や矢部などを観光するようになっています。今年は日程にゆとりがあったので、思い切って、「土曜日の夜天文台で天体観望会を

します」と提案していました。

バブル期以降、たくさんの公開天体観測施設が出来た日本と違い、外国では公開天文台自体が珍しいはず。それに、県民天文台は、星空全体を眺めながら望遠鏡で詳しく観察できるユニークな施設。外国からのお客さんは絶対喜んでもらえる自信がありました。



当日は半月前の月が見えます。7月のうちにデジカメで撮影しておいた半月の画像をフォトカードにたくさんプリントして、お土産も準備しました。熊日にも「国際交流天体観望会」という案内記事が出て準備は万端。

土曜日の来台は1ホストファミリー、中国の団員2名と通訳の青年1名だけでしたが、その噂が広まり、案内チラシも効果があって、日曜日の夜は大勢の来台がありました。天文台は大変なにぎわい、てんてこ舞いで、写真撮影が出来たのは夜も更けてからでした。

8/26 城南町子どもフェスティバルで 電子紙芝居「南の島のアムリガー」を上演



去る8月26日（土曜日）、城南町の火の君文化センターで、運営ボランティアはじめ、町内のたくさんの中団体が参加して、第1回城南町こどもフェスティバルが開催されました。

子供たちに、たくさんの楽しい遊びがあることを知つてもらあうと、ボランティア団体の手作りの企画として、始めて開催されたものです。

活発な討論を経て企画が練り上げられましたが、何しろ初めての試み、いったいどれくらいの子供たちが集まってくれるのか全くの未知数。事務局となつた社会教育課員全員が、開会直前まで心配のしどよしで、スタッフにも不安が広がりました。



ところが、開会の10分前になつて、どつと人が集まり初め、とたんに賑やかに。「作ろう」コーナーには、石ころペインティング、絵手紙、押し花、プラバン作り、竹とんぼ、などがありました。材料が足りなくなるほどの人気です。



電子紙芝居会場の様子

予想していたよりも修学前の児童が多く、「電子紙芝居」の上演がうまくいくか大変心配しました。でも、小さな子供たちも熱心に画面に集中してくれ、また、たくさんの質問も飛び出し、大きな拍手もいただいて、期待以上の大成功でした。次の機会には、ぜひ皆さんもご参加下さい。楽しいですよ！

『スターフェスタ』ミニ見聞録

キャプテン立川

先日、NHK番組「プロジェクトX」を観た。

星へのロマンを求め、すばる望遠鏡の完成を望む一人の男、小平氏。彼を支える家族。又、彼を取り巻く人間模様。皆、一丸となって完成に至力を注ぐ姿が描写されていた。

夢を求める一つの人生を垣間見た。

小平氏の当番組を観て、熊本県民天文台完成当時や、第一回スターフェスタが成功した翌朝の清々しさを思い出した。

思えば、星への興味が今以上に盛んな頃、雑誌で見た「星空への招待」と言う星好きが全国から集まって一夜を共にする集い。いつかは私達も...と、実現した「スターフェスタ」。もう、あれから13年になる。「スターフェスタ」が切っ掛けとなり、その後清和に天文台が出来、現在も、県民天文台会員は側面からスターフェスタに参加している。

しかし、今も変わらないものは、星好きの仲間が集まるということ。嬉しい事ではないか。

さて、今年の「第13回スターフェスタ」は、7月22日早めの時期に晴天の中、行われた。

自慢の愛機（高級望遠鏡）がざらりと並び、手が届かない小生も、目で楽しんだ。

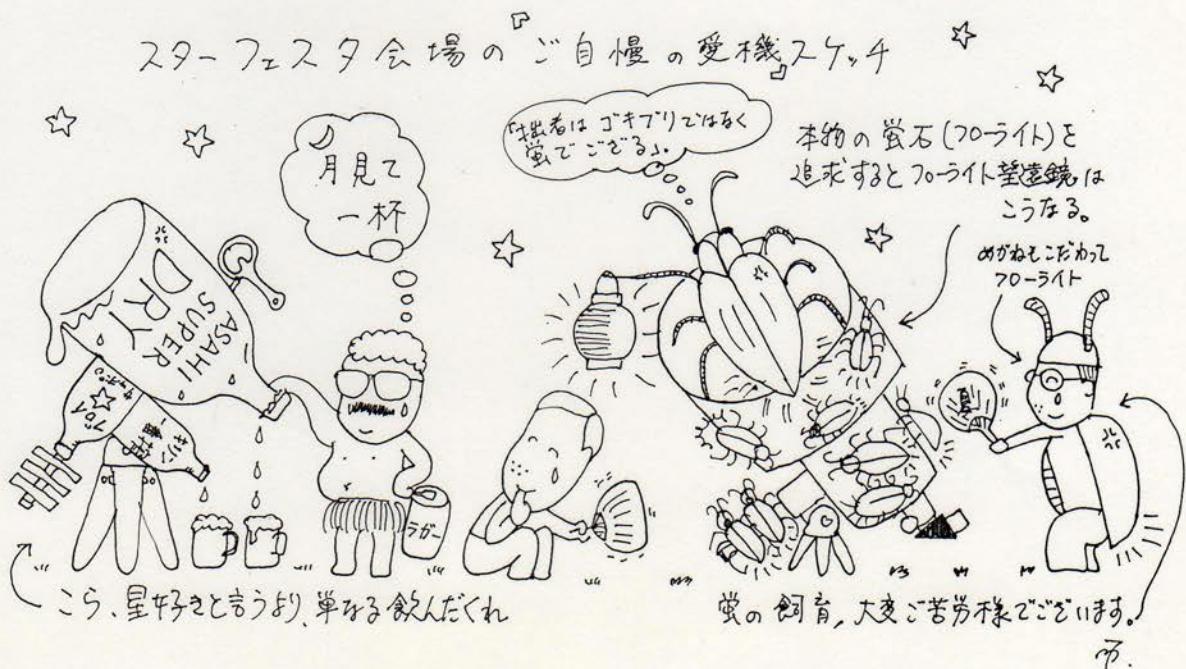
長崎天文協会、大分天文協会、佐賀天文協会、その他多数の参加者の中、満天の星空を堪能した。

その後、星仲間との対話や、御神酒にも堪能した事は、言うまでもない。

星を観に来た家族連れやカップルのお目当ては、すばらしい清和の自然に触れる事と50cm大型望遠鏡だけではなく、点在する小さな望遠鏡に群がり、星の話に酔いしれる事と推測した。

爽やかな高原の朝風を後に帰路の途中、温泉で癒した会員もいたことでしょう。

最後に、フェスタ開催に携われた地元の方々に感謝し、次回のフェスタを心待ちとする。



8月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 14日/31日=45.2% 一般来台者数名 280名 会員来台 43名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
4日(金)	晴	0名	小林J、西嶋、松の、長谷	S 4が核なしになっていました。ボーッと長いだけ。 星がまたたき天の川が見えるのにだれも（お客様）がこない。（は）
5日(土)		53名	艶島、松本、高田、山口、磯田、中尾（の）	月、アンタレス、M 22、M 8 国際交流官房会、熊日に載ったせいか、多くのお客様 中尾（の）
6日(日)	晴	約100名 中国北京大付属の中学生	艶島、高田	金星、月、アンタレスだけ 2人で100名のお客さん相手につらかった。良い国際交流ができました。（高田）
11日(土)	くもりのち晴	21名の小学生 団体一家族 5名	長谷、松野、西嶋、立川、中島	歴史民俗資料館に泊まっている小中学生21名がひまをもてあまして来台。松野氏1人につきビビって近隣の中島氏にHELPのTEL。フィルターのついた月を観てもらう。一団帰って、晴れだす。 最後に運営委員の5人で4本のアイスを取りあう！！ 月、アンタレス、ミザール（立川） ・ペルセウス流星（19個） ・木星、土星（松野）
12日(土)	くもり	10名	高田、中尾（の）	月、アークトゥルス 蚊が多くて熊本市内からのお客さんはさっさと帰られてしまいました。（高田） TALKABOUT 艶島、中島、西嶋、小林 M、甲斐、中尾の、高田
13日(金)	晴	15名	艶島	金星、月、アンタレス、アークトゥルス 今日は日にちと月令がほぼ同じ、大きな月と雲とで明るい星しか見えない。そこで星の色くらべ・・・ 先週末、月の写真を配ったのが受けて、再来台が2組もあったのには驚き！やっぱりお土産はきき目があるらしい。 昼間、草刈りをしました。後片付けをよろしくね！（艶島）
14日(月)	曇	なし	高田	お盆で里帰りしているお客様が来るかな？と開けていましたが天気が悪くて来台者なしでした（高田）

15日(火)	はれ (うす ぐ も り)	10名	艶島、松野、 中島	月、アーケトゥルス、アンタレス、アル タイル、ミザール お盆のわりには少ないです。ビールのん でおわり！（中島）
18日(金)	くもり	5名	松野	くもりの為望遠鏡の説明とパソコンを 使って晴れていれば見える星空と来ら れた方の生まれた日の星座をみてもら う。（松野）
19日(土)	くもり はれ	なし	中島	だれも来ない、さびしい夜でした・・・ (中島) 艶島、松本
24日(木)				熊本市碁台小学校家庭教育学級の天文 教室へ参加者30名ほど 子飼橋側の建設省が作っているセンタ ーでとてもいいところでした。 星は、ベガとアルタイルしか見ませんでした があとはビデオプロジェクターで 中島、中尾（の）
25日(金)	晴	5名	小林 J、西嶋、 長谷	ミザール、アンタレス、M8、M22, M25?, M17, M57、アルビレオ、M27, M31, h-x 晴れかなと思って来たらさっそくファ ミリーのお客さん。とたんにくもり始め 天頂しか見えない。しかし子どもが・・・ うーんどうしようと言っている間に晴 れて来てけっこうみ得ました。M57 から あとは大人だけの時間帯になってから。 (西嶋)
26日(土)	はれ	9名	中島、中尾の 松本	M20、M8. アンタレス、アルタイルなど とってもいい天気です。天の川も見えま した。（中島） 小林 J、艶島、富永
27日(土)	晴れ	22名	艶島、高田	アーケトゥルス、M22、M20、M8、M7、ア ンタレス、アルタイル、アルビレオ、ミ ザール、アルコル、天王星、M31

お知らせ

今年から県民天文台正式参加

城南町火の君まつり 9月23日(祝) 午前10時から
塙原古墳公園にて

「天文台で昼間の星をみよう」と「広報じょうぽん」に
書いてあるらしい。
はたして太陽に近い金星を見つけられるか？

一言御期待!!

いつまでたっても暑いっすねー、てな感じの言葉がピッタリの残暑な毎日。本当に、なんざんしょ・・・。少しは寒くなつて頂けましたでしょうか。あまりの暑さに、熱暴走おこしています。さて、星屑は、秋の便りをお届けにまいりました。明るい星はありませんが、夜半すぎから土星や木星がやっとお目見え。まだまだ星空はにぎやかです。

☆ 10月の天文現象 & 行事 ☆

- 5日（木） 上弦（19:59）
- 6日（金） 水星が東方最大離角（ $25^{\circ}30' .9$ 0.0等 視直径06".7）
- 8日（日） 寒露（かんろ…秋涼増長し、寒くなり露を結ぶ）
りゅう座γ流星群（ジャコビニ流星群）が極大のころ
- 10日（火） 十三夜（栗名月）
- 13日（金） 満月（17:53）
- 14日（土） トークアバウト（天文台にて 20:00～）
- 17日（火） 夜半に、月が木星、土星に接近
- 20日（金） 下弦（16:59）
- 21日（土） オリオン座流星群が極大
- 23日（月） 霜降（そうこう… 露は霜と化して草木の葉は黄変するという意味で霜降）
- 27日（金） 新月（16:58）
- 30日（月） 水星が内合 夕方、月が金星に接近

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2000年10月号 通巻307号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://www.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML